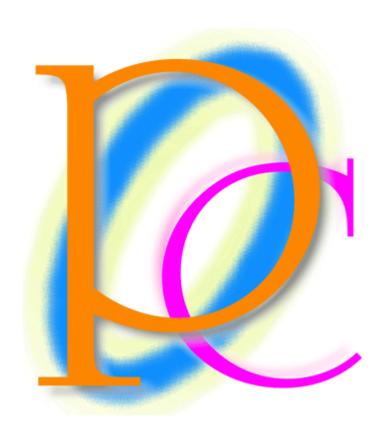
Exce | 2007

実践



| 第1草 | 印刷設定 1 | 5 |
|----------------------|-------------------------|------|
| [1] | 選択と移動 | 5 |
| (2) | ウィンドウ枠の固定1 | 9 |
| (3) | ウィンドウ枠の固定 2 | . 12 |
| (4) | 印刷 | . 14 |
| (5) | 印刷プレビュー | . 15 |
| (6) | ページ設定 | . 17 |
| [7] | 改ページとクイックアクセスツールバー | . 20 |
| [8] | 印刷タイトル・タイトル列 | . 24 |
| (9) | 印刷タイトル・タイトル行 | . 27 |
| 【10】 | 印刷範囲と改ページプレビュー | . 30 |
| [11] | [印刷プレビュー]ボタンを取り外す | . 34 |
| [12] | まとめ | . 34 |
| 【 13】 | 練習問題 | . 35 |
| [14] | 練習問題 | 40 |
| 第2章 | 印刷設定 2 | . 44 |
| [1] | 準備 | . 44 |
| [2] | 置換 | . 46 |
| (3) | 置換を利用した書式の変更 | . 47 |
| [4] | 拡大/縮小 | . 48 |
| (5) | 印刷結果にセルの枠線を入れる・印刷方向を変える | . 52 |
| [6] | ヘッダー/フッターに文字を印字させる | . 53 |
| (7) | フッターと[ページ番号]フィールド | . 55 |
| [8] | その他の[ヘッダー/フッター]ボタン | . 57 |
| (9) | ヘッダー/フッターのボタン一覧[参考資料] | . 61 |
| 【10】 | セルにコメント・メモを入れる | . 61 |
| [11] | コメントを印刷対象とする | |
| [12] | 印刷範囲の設定と印刷時の中央寄せ | . 65 |
| 【 13】 | 印刷範囲を無視した印刷 | . 69 |
| [14] | 印刷範囲をクリアする | |
| 【 15】 | ページ設定ダイアログボックス【参考学習】 | |
| 【 16】 | コメントの削除 | |
| [17] | まとめ | |
| [18] | 練習問題 | |
| [19] | 練習問題 | |
| 第3章 | ユーザー定義の表示形式 | |
| [1] | 数値の基本表示形式・「#」の利用 | |
| [2] | 「0」を表示させる表示形式 | |
| [3] | 小数点の桁数 | |
| (4) | 強制桁表示 | |
| (5) | 文字列の表示形式 | |
| [6] | まとめ | |
| [7] | 表示形式記号一覧表 | |
| [8] | 練習問題 | |
| (9) | 桁区切りの表示形式 | |
| [10] | 千円単位にする | |
| 【11】 | パーセントの表示形式 | 102 |

| [12] | まとめ | 103 |
|----------------------|---|-----|
| 【 13 】 | 練習問題 | 103 |
| [14] | 分数の表示形式 | 104 |
| (15) | オリジナルの分数書式 | 106 |
| 【 16 】 | まとめ | 108 |
| [17] | 練習問題 | 108 |
| [18] | 日付の表示形式 | 109 |
| (19) | 元号と和暦の書式記号 | 111 |
| 【 20 】 | 曜日の書式記号 | 114 |
| (21) | まとめ | 116 |
| (22) | 練習問題 | 116 |
| 第4章 | 複雑な並べ替えと小計行の作成 | 117 |
| [1] | 準備と並べ替えの復習 | 117 |
| [2] | [ユーザー設定の並べ替え]を使う | 119 |
| (3) | 色を使った並べ替え | 121 |
| [4] | 小計の基本的な考え方 | 124 |
| (5) | 小計の失敗例 | 128 |
| [6] | 正しい小計の使い方 | 131 |
| [7] | 2 段階以上の集計 | 134 |
| [8] | まとめ | 137 |
| (9) | 練習問題 | 138 |
| 【10】 | 練習問題 | 143 |
| 第5章 | 条件付き書式 | 145 |
| [1] | データバー | |
| (2) | データバーの調整 | |
| [3] | アイコンセット | |
| [4] | 条件付き書式のクリア | |
| (5) | 条件付き書式 | |
| (6) | ルールの変更 | |
| [7] | 相対参照の条件付き書式 | |
| (8) | 判断基準が異なるセルである場合の条件付き書式 | |
| (9) | まとめ | |
| 【10】 | 練習問題 | |
| 【11】 【10】 | 練習問題 | |
| 【12】 | 練習問題 | |
| 第6章 【1】 | 入力規則 … 単純な日付の入力規則 … … … | |
| (2) | 数値の入力規則 数値の入力規則 | |
| (3) | 数値の入力 焼剤 | |
| (4) | リスト型入力規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| (5) | セル群を使ったリスト型入力規則 | |
| (6) | 他のセルのみを判断対象とする入力規則 | |
| [7] | 入力規則の強さを変える | |
| [8] | 無効データのマーク | |
| (9) | 日本語入力システムのコントロール | |
| [10] | まとめ | |
| [11] | 練習問題 | |

記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

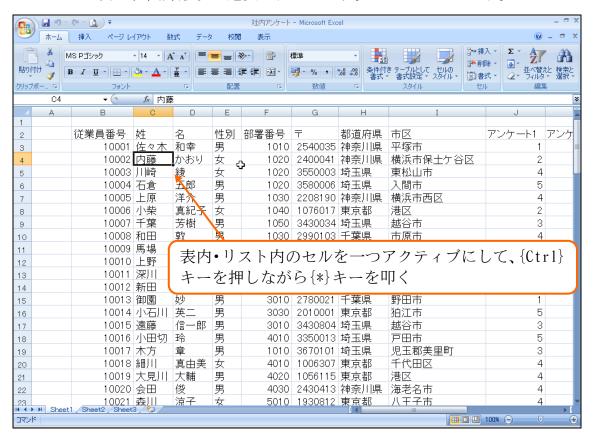
■ 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。

- 本文中にはTM,®マークは明記しておりません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。
- 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することを禁じます。ただし、合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材はMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - ◆ 著作・製作合資会社アルファ
 - ◆ 発行人 三橋信彦
 - ◆ 発行 **〒**244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NS ビル 6F
 - ◆ 定価 ¥5,040円

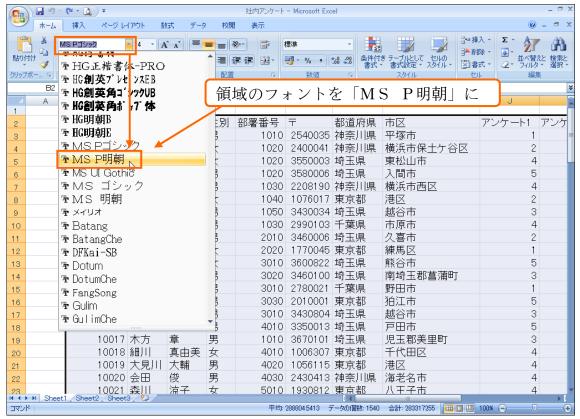
第1章 印刷設定1

【1】 選択と移動

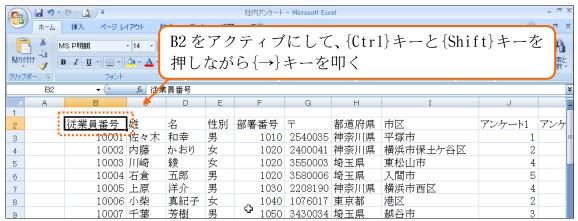
(1) 用意された Excel ファイル「社内アンケート」を開いて下さい。非常に大きな表です。今からこの表全体を選択します。このような場合は、表内・リスト内のセルを一つアクティブにして、{Ctrl} キーを押しながら{*} キーを叩きます。すると、データが入力されているエリア内が、長方形状に選択されるのです。やってみましょう。



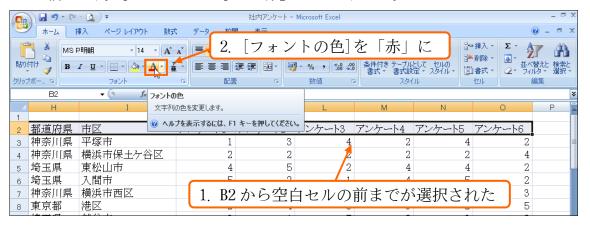
(2) データが入力されている領域が選択されました。この領域のフォントを「MS P明朝」にして下さい。



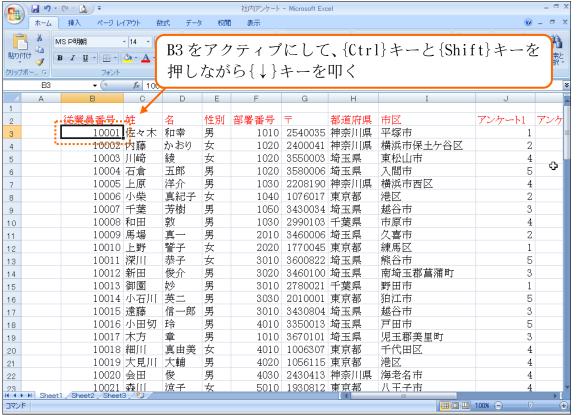
(3) 今度はセル B2 をアクティブにして下さい。今から B2 を開始地点として、右方向において、 データが入力されている最後のセルまでを選択します(つまりセルO2まで)。{Ctrl}キー と{Shift}キーを押しながら{→}キーを叩きます。すると、現在のセルから右方向に向かっ て、データが入力されている最後のセルまで選択されるのです。やってみましょう。



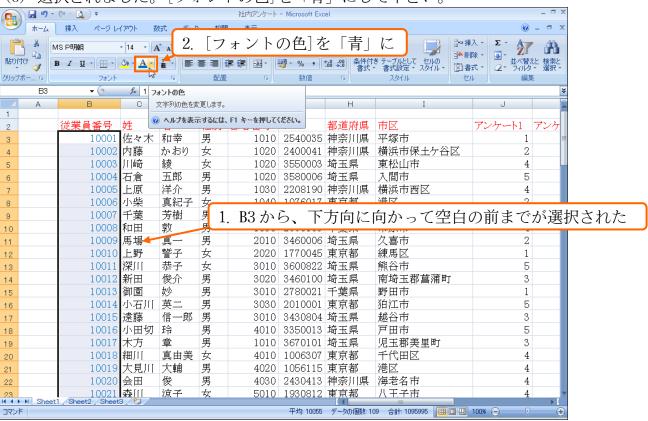
(4) B2 から右方向へ見て、最初に発見される空白セルの手前までが選択されました(セル P2 の前まで)。[フォントの色]を「赤」にして下さい。



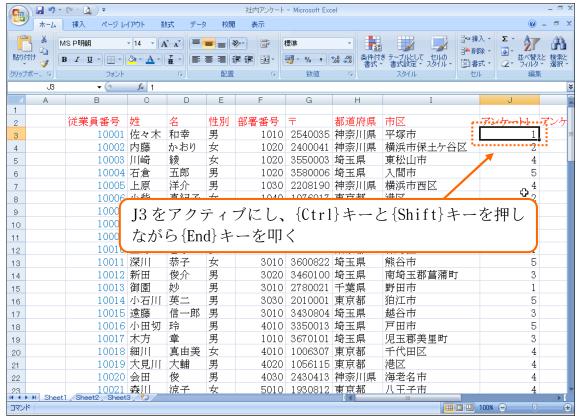
(5) 今度はB3から、下方向に向かって、空白の前までを選択します。B3をアクティブにして、 $\{Ctrl\}$ キーと $\{Shift\}$ キーを押しながら $\{\downarrow\}$ キーを叩きましょう。



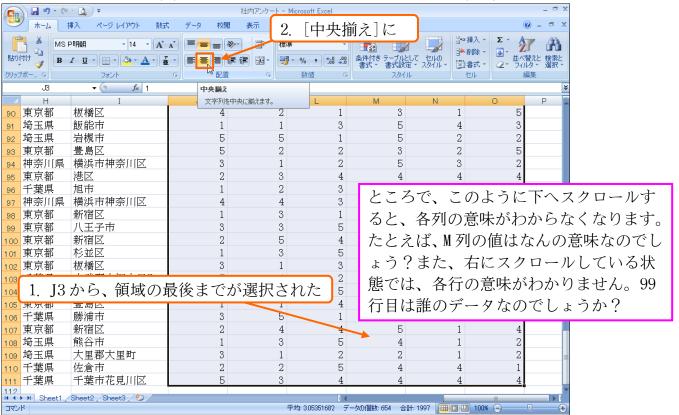
(6) 選択されました。[フォントの色]を「青」にして下さい。



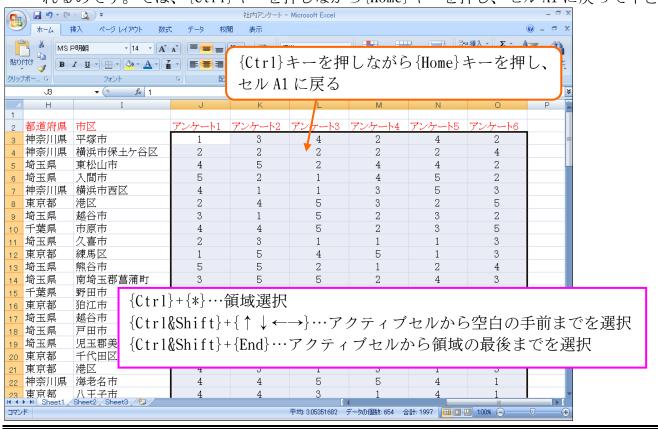
(7) 最後に J3 から、データが入力されている最後のセルまでを選択します。{Ctrl}キーと {Shift}キーを押しながら{End}キーを叩くと、現在のセルからデータが入力されている領域の最後(右下)までが選択されます。J3 をアクティブにしてやってみましょう。



(8) J3から、領域の最後までが選択されました。このセル群を中央揃えにして下さい。

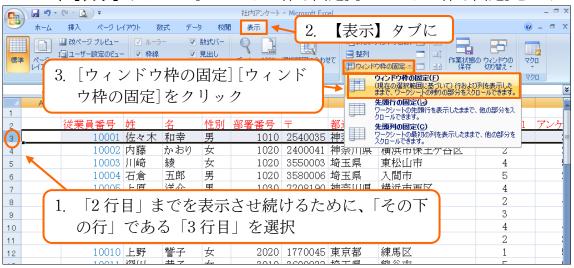


(9) 中央揃えが完了しました。このように、{Ctrl}と{Shift}キーを押しながら{→}{↓}キーを叩けば、現在のセルから空白の手前までが選択されます。{Ctrl}と{Shift}キーを押しながら{End}キーを叩けば、現在のセルからデータが入力されている領域の右下端までが選択されるのです。では、{Ctrl}キーを押しながら{Home}キーを押し、セル A1 に戻って下さい。

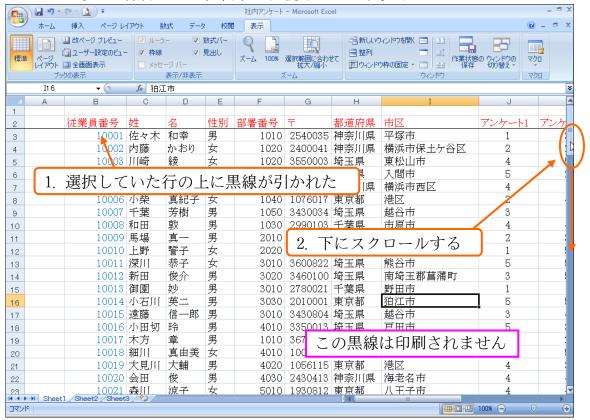


【2】 ウィンドウ枠の固定 1

(1) このような大きな表を扱う際に下へスクロールすると、項目名が見えなくなります。「F列の数値はどんな意味?」となってしまいます。しかし Excel では下にスクロールした際も、2行目を表示させたままにすることができます。使う機能は「ウィンドウ枠の固定」です。2行目までを表示させたままにしたい場合には、「その下の行」である「3行目」を選択して、【表示】タブから[ウィンドウ枠の固定][ウィンドウ枠の固定]をクリックします。



(2) 選択していた行の上に黒線が引かれます。この状態だと、下にスクロールしても黒線より上である2行目までは、表示され続けるのです。下にスクロールしてみましょう。



(3) 下にスクロールしても、2行目までは常に表示されたままとなるのです。確認後は、[ウィンドウ枠の固定]を解除して下さい。

